

登録コード	F3B60830	開講年度	2026			
授業科目	機能機械学演習				担当教員	河村 隆 他
英文授業名	Seminar of Functional Machinery and Mechanics IV				副担当	渡辺 健太郎・照月 大悟
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・ 1 時限 金曜・ 2 時限	対象学生
講義室	繊維 2 8 番講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 2 Fカリ					
	【2022年度以前加付対象】ヒトと環境にやさしい機械を創造するための専門的知識と課題解決能力				制御工学に関する演習問題を解くことができるようになる。	
	【2022年度以前加付対象】コミュニケーションおよび情報収集・発信能力				質問をすることができるようになる。	
	【2022年度以前加付対象】課題解決に向けて自主的・継続的に学習・計画・実行できるデザイン力と実行力				図書館やインターネットを利用し得た情報を整理し自らの考えをレポートにまとめることができるようになる。	
	2 4 Fカリ・機械設計・機械学コース、 2 3 Fカリ・機械設計・機械学コース					
	【2023年度以降加付対象】課題解決に向けて自主的・継続的に学習・計画・実行できる能力を有する				3D CADを使いこなせるようになる。 現代における職業選択の知識を得ることができる。 質問をすることができるようになる。 図書館やインターネットを利用し得た情報を整理し自らの考えをレポートにまとめることができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	教員とのコミュニケーション（ホームルームやチューター面談）を行い，CAD演習および繊維学部OBの方々によるリレー講義「現代職業論」を行う。 また卒業論文発表会および修士論文中間発表会を聴講し、機能機械学コースの各研究室における研究テーマについて学ぶ。					
(5)授業計画	各回の授業時間は 1 0 0 分である。 順番は変更される場合がある。その際は都度連絡する。 eALPSを授業前に確認すること。 第01回 H R（自己点検，チューター面談） 第02回 CAD演習 第03回 CAD演習 第04回 CAD演習 第05回 CAD演習 第06回 CAD演習 第07回 CAD演習 第08回 現代職業論概説 第09回 現代職業論1 第10回 現代職業論2 第11回 現代職業論3 第12回 現代職業論4 第13回 修士論文中間発表会の聴講 第14回 卒業論文発表会の聴講、授業アンケート 第15回 予備日					
(6)成績評価の方法	課題もしくはレポートで評価する。 ただし，eALPSに掲載されるガイダンス資料、および、以下の注意事項を必ず確認した上で授業に臨むこと。 - 本演習は複数の教員がオムニバスで担当する。 - 授業を理由もなく欠席し，課題とレポートを提出した場合、0 点もしくは大幅な減点を行う。 - やむを得ず欠席しなければならない際は，事前・事後（早急に）担当教員へ連絡・欠席についての説明を行い，了解をとること。 - 欠席した際の授業のフォローアップは，担当教員と相談の上，指示を受け，課題提出に支障をきたさないこと。 - また，欠席した回の課題については，担当教員と提出日の確認を行い，速やかに提出すること。 - なお，出席・欠席に関わらず，提出期限を超えた際のレポートは，0 点もしくは大幅な減点を行う。					
(7)成績評価の基準	秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）： 授業の達成目標の水準にない					
(8)事前事後学習の内容	この授業は45 時間の学修を必要とする内容です。従って，15 時間以上の時間外学習が必要となります。 ・ 各回の演習，講義の内容を図書館等を利用して事前に学習し，授業後には授業で出された課題について調査・検討し，レポートの作成を行うこと。					

(9)履修上の注意	eALPSを授業前に必ず確認すること．
(10)質問,相談への対応	質問や相談は随時受け付ける．
(11)学生へのメッセージ	特になし．
(12)その他	特になし．
【教科書】	特になし．
【参考書】	特になし．